

しんじょう

2012.10.25

市議会だより

118



第2回議会報告会開催

日時 平成24年11/16(金)、19(月)、20(火)、22(木)
午後7時～

詳しくはP5をご覧ください。

※当日はこの『市議会だより』をご持参ください。

日新学区婦人会による
敬老会 (9月16日)

平成24年9月定例会

■ 本会議の審議から	2
■ 決算特別委員会	4
■ 11議員による一般質問	6
■ 常任委員会の審査から	12
■ あとがき	12



平成24年度一般会計は2億9,613万2千円を追加し

総額 146億2,642万8千円となりました

本会議の 審議から

9月定例会に市長から出された案件は、土地開発公社の経営状況の報告について等報告3件、新庄市教育委員会委員の任命について、市道路線の認定及び廃止について等議案19件。さらに最終日に議案1件、議案2件が追加され、合計で25件でした。慎重審議の結果、原案のとおり、3件了承、1件同意、8件認定、

1件可決及び認定、12件可決しました。一般会計補正予算は、歳入、歳出それぞれに2億9613万2千円を追加し、総額146億2642万8千円となりました。常任委員会からは、地方財政の充実・強化を求める意見書、少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の2件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。それでは本会議で話し合われた内容から主なものをご紹介します。

一般会計補正予算

財産管理費について

議員 東山スポーツハウスと土内分校の解体ということだが解体された後どのような状態になるのか。

財政課長 東山スポーツハウスについては周辺にスポーツ施設があるので駐車場としての活用となります。土内分校については売却する予定です。議員 また、2つの石碑があると思うがどうするのか。

財政課長 残すという方針で考えています。位置関係については検討していきます。

体育施設費について

議員 市民球場はどこを工事するのか。

生涯スポーツ課長 スコアボード（電光掲示板）をLEDに更新するというものです。

新庄まつり※トレーラーラッピング製作業務委託について

議員 契約の期間、運行経路、時間帯はどのようなものか。

商工観光課長 地元業者の協力により、2台の11t車の両面に新庄まつりをPRするラッピングを予定しています。新庄と首都圏を運送する車で、3年間無償で掲載していただくというものです。

注釈※トレーラーラッピング：：あらかじめ広告を印刷したフィルムをトレーラーに貼り付けること。

9月定例会の経過

7日(金)	開会（議案説明等）
8日(土)	休会
9日(日)	休会
10日(月)	本会議（一般質問6名）
11日(火)	本会議（一般質問5名）
12日(水)	常任委員会（総務文教）
13日(木)	常任委員会（産業厚生）
14日(金)	決算特別委員会
15日(土)	休会
16日(日)	休会
17日(月)	休会（敬老の日）
18日(火)	決算特別委員会
19日(水)	休会
20日(木)	最終日（本会議準備のため）

新庄の秋は
オイシイ
11月4日の
そばまつりが
楽しみじやのう



8月臨時会で審議された議案

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
議案	第45号	新庄市一般会計補正予算（第3号）について	可決

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
脱原発社会に向けたエネルギー政策の転換を求める意見書の提出に関する件	山形市木の実町12番37号大手門パルズ4階山形平和センター内 さようなら原発県民アクション呼びかけ人代表 高橋 義夫	伊藤 操 遠藤敏信 奥山省三 佐藤義一	不採択
「地方財政の充実・強化を求める請願」について	新庄市大手町2-60 連合山形新庄最上地域協議会 議長 渡辺 裕一	伊藤 操 平向岩雄 遠藤敏信	採択
少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請について	新庄市大字本合海1127番9号 山形県教職員組合最上地区支部 支部長 松田ひろみ	伊藤 操 平向岩雄 遠藤敏信	採択
危険な垂直離着陸輸送機オスプレイの配備及び低空飛行訓練計画の撤回を求める意見書の提出を求める請願	新庄市松本609番地の5 佐藤 忠志	佐藤悦子	継続審査

提出した意見書

- ◆ 地方財政の充実・強化を求める意見書
- ◆ 少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書

9月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第10号	新庄市土地開発公社の経営状況の報告について	了承
	第11号	平成23年度新庄市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	了承
	第12号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	了承
議案	第46号	新庄市教育委員会委員の任命について	同意
	第47号	市道路線の認定及び廃止について	可決
	第48号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	可決
	第49号	平成23年度新庄市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第50号	平成23年度新庄市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第51号	平成23年度新庄市交通災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第52号	平成23年度新庄市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第53号	平成23年度新庄市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第54号	平成23年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第55号	平成23年度新庄市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第56号	平成23年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	第57号	平成23年度新庄市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定
	第58号	平成24年度新庄市一般会計補正予算（第4号）	可決
	第59号	平成24年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第60号	平成24年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第61号	平成24年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第62号	平成24年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第63号	平成24年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第64号	平成24年度新庄市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
	第65号	平成24年度新庄市一般会計補正予算（第5号）	可決

【議員・委員会提出】

議会案	第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決
	第5号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書の提出について	可決



平成23年度 一般会計 特別会計 水道事業会計 決算を認定

決算特別委員会

収入未済額について

委員 収入未済が7.2%減少したとあるがどのような取り組みをしたのか。

税務課長 納めやすい環境づくりとして、住民税の特別徴収の推進や納期まで納めていない方には、納税相談や分割納入などの方法を通じて納税への努力をいただいています。また、税務調査によりやむを得ない場合は差し押さえ公売も行っていきます。

※不納欠損額について

委員 不納欠損額は現在のどのような状況でいいのか。

税務課長 金額で8250万円ほどで、件数では907件と前年度より減っています。内蔵しく受け止めています。内容としては固定資産税が大きな割合を占め、法人の倒産、業績不振による大口の固定資産税の不納欠損額が40.9%となっています。倒産な

入湯税について

委員 予算に対し調定額が増えているがなぜか。

税務課長 平成21年に廃業され滞納繰越となっていた分がこの度納入されたため増えています。

コンビニ収納について

委員 コンビニ収納によりどれぐらいの収納増を見込んでいるのか。

税務課長 25年度から軽自動車税について導入する予定になっています。軽自動車税の収納率は97.92%と非常に高く、増収となったとしてもそう大きなものにはならないと予想されます。

若者園芸塾について

委員 3名が卒業したとあるが、少なくともないか。また、この卒業する方へのハウス等の助成はどのくらいか。

農林課長 当初5名というこ

そばまつりについて

委員 どのくらいの来客数だったか。また、場所等についてこれから拡大するつもりはあるのか。

農林課長 約1300人となっています。そばどころというところで一つの農業振興策としてやっていければと思います。場所については検討していきます。

職員数について

委員 定員管理計画により職員は減っている。日々雇用や嘱託職員で補っているが、給与のアップなどは考えているか。

総務課長 社会情勢や職員給与を勘案しつつ必要な見直しを行ってきています。

水利権について

委員 水は農家のためだけではなく流雪等の市民生活、防災にも必要であり、使用して

自主防災組織について

委員 県内で組織率が一番低い。今後どうしていくのか。

環境課長 自主防災組織の必要性について、更に普及・啓蒙していきたいと思っています。

がん検診の推進事業について

委員 子宮頸がんの受診率が前年よりも下回ったようだが、今後どうするか。

健康課長 若年層の受診率が非常に低くなっており、健康に対する意識を広げていくことが重要だと考えます。今後、検診の普及啓発を行ってまいります。

男女共同参画社会推進事業について

委員 研修会やフォーラムの周知をしているようだが啓蒙活動はどのように行っているか。

いる事実を広報するべきでは。都市整備課長 最上川の水についてなどの記事と併せて広報等で周知に努めたいと思っています。

生涯学習課長 県、国から会議等の連絡があるので、それを婦人団体、青年団体などに通知をして情報提供を行っています。

体験農園について

委員 売り上げはどのように処理しているか。

農林課長 使用料として1区画3000円で受けています。収穫体験については、体験料1人1000円で受けています。そば打ち体験は1人50

特別会計

委員 平成22年度と比べて1人あたりの国民健康保険税が減り、1件あたりの診療費も減っているが、どのように考えているか。

健康課長 1億3200万円の黒字ということにはなっていますが、歳入で見ますと国保税は年々減少しています。前年度繰越金と基金繰入金の3億円と一般会計から4840万2千円の法定外繰入をしながら運営している状況であ

就学援助費について

委員 生徒全体に対する割合はどのくらいか。

学校教育課長 平成23年度実績が272件で約8%です。

注釈※不納欠損：…何らかの理由で徴収が行えず、今後も徴収の見込みがたたないため、徴収不能と決定すること。

り、1億3200万円しか繰越がでなかったという認識です。このような経営状況であるため、今年の3月議会に国保税の税率改正を行ったという状況です。

委員 国保税の引き上げによる市民からの声などはあるか。

税務課長 国保税の納付書発送後、10日間で窓口にお問い合わせに来られた方が188名、電話での問い合わせが194名と例年の3倍ほどありました。国民健康保険制度は、これからも維持していかねばならない制度であり、ご理解をお願いしています。

9月定例会 議会報告会を開催します

開催趣旨

新庄市議会は、議会活動の状況を地域に出向いて市民に直接報告・説明し、市政に関する情報の提供に努めるとともに、市民との意見交換を通して、議会における政策立案及び政策提言の充実を図るために、議会報告会を開催するものです。

開催日

- 11/16 (金) 雪の里情報館 (B班)
11/19 (月) 八向地区公民館 (A班)、市民プラザ (C班)
11/20 (火) わくわく新庄 (A班)
11/22 (木) 萩野地区公民館 (C班)

※開会時間は、全会場午後7時からです。
当日は、この「市議会だより118号」をご持参下さい。
ご都合のよい会場にご来場下さい。

班編成

Table with 3 rows (A班, B班, C班) and 7 columns of names.

一般質問

一般質問は、9月10日と11日の2日間、11名の議員が行いました。
質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

9月定例会一般質問の質問者と質問事項

佐藤 義一

- 1. 空き家対策について
- 2. LED照明灯の設置について

小嶋 富弥

- 1. 全国学力テストについて
- 2. 新庄まつりについて
- 3. 県のドクターヘリについて

伊藤 操

- 1. 介護予防の為の施策について
- 2. 乳幼児の虫歯予防の為のフッ素塗布について
- 3. 市指定のゴミ袋について
- 4. 山屋セミナーハウスの設立後の利用状況等について

山口 吉静

- 1. 教育行政について
- 2. 図書館行政について
- 3. 観光行政について
- 4. 通学路の再点検と整備・安全について
- 5. 人口減少について

小関 淳

- 1. 市内の環境美化対策について
- 2. 未来を生きる子どもたちが安心して遊べる遊具の安全性について
- 3. 定住化に繋がる「地域おこし」について

石川 正志

- 1. 流雪溝の整備計画について

高橋 富美子

- 1. 教育行政について
- 2. 若者の経済的自立支援について
- 3. 子ども読書活動推進計画の策定について

新田 道尋

- 1. 萩野地区小中一貫校建設の問題点を問う

佐藤 悦子

- 1. 中核工業団地内の市道廃止は問題だったのでは
- 2. 広域消防体制についての市長の見解を問う
- 3. オスプレイ配備の重大な危険について
- 4. 福祉施設での事故防止のために

佐藤 卓也

- 1. 新庄そばガールズについて
- 2. エコロジーガーデンの活用について
- 3. 地域交流について
- 4. 新庄祭り塾について
- 5. 地域資源の活用について

清水 清秋

- 1. 雇用の拡大・創出について
- 2. 道路整備について
- 3. 災害対策について



安心安全な市民生活の確保のために、今すべきことは・・・

佐藤 義一

◎空き家の現況調査結果と、結果に基づいた「空き家情報登録制度」及び「空き家条例」の制度を含めた今後の対策をお尋ねいたします。

市長 区長の協力を得て空き家の現状把握調査を行いました。空き家として報告が挙がったものは381件でした。その中には倒壊のおそれのあるもの、一部破損しているもの等がありました。雪害・風害での課

題のあるものもあります。利活用できる空き家もありますので、そういったものは所有者や地域の意向等を大切にしながら、今後の活用等を考えていきたいと思えます。活用できる空き家については、「空き家情報登録制度」の制定も含めて関係者とともに研究していく予定です。

空き家対策については、県でも検討を進めていますので、その動向を

参考にながら、本市にあつた対策について今後も検討を重ねていきま

え、補助金制度等の改正や予算について段階的な整備を行っていききたいと思えます。



市内公共施設や市街地の防犯灯のLED化について今後の方策をお尋ねいたします。

市長 本市の公共施設においては、徐々にではありますが、LED灯への移行を進めています。LED灯への移行を進めています。LED灯への置き換えは極めて低い状況にあります。今後も公共施設や防犯灯のLED化を進めていく必要があると考えています。また、町内の防犯灯のLED灯への更新については、現在は維持管理費用も含めて助成は行っていませんが、町内会からの要望等を踏ま



新庄の宝を大事にしよう

小嶋 富弥

◎新庄まつりについて

曜日にも恵まれて、52万人の人出で賑わった。特に26日の後祭りの東北3県福興祭は感動と感激でした。今後もこの様な企画を図り観光客の誘客と祭り振興を進める考えは。

市長 今年のまつりは、曜日配列、天候に恵まれ、テレビ・ラジオ・観光情報誌など各種PRの相乗効果に加え、東北三県福興祭の影響が大き

く過去最高の人出となりました。今まで後まつりは、子若連の囃子演奏、鹿子踊奉納、飾り山車等を行

つてきましたが、今年の東北三県福興祭の盛り上がりを考え、今後は本市の友好自治体やポスター出品団体等を中心に地域伝統イベントとの交流を検討していきたいと思

います。◎学校のいじめについて

各地でこの問題が起きています。当市の取り組みと、現状についてどうかを質問いたします。**教育長** 本市では「いのちの尊厳を根底に据えた心の教育の充実」を最重点にしています。この「心の教育」を基本に、いじめなどの問題行動へ



の対策として「いじめなどを出さない学校づくり」、「早期発見と早期対応」という2つの柱で取り組んでいます。「学校づくり」では、心の教育を全教育活動の中で行い、子どもたちが互いを大切に思う豊かな人間関係を育てています。「早期発見と早期対応」では、学校では担任が一人で抱え込まず組織的に対応するようにし、教育委員会でも関係機関と連携を取りながら学校のサポートにあたります。このような取り組みの継続により、問題行動やトラブル、不登校等の案件は着実に減少してきています。



市民生活にゆとりと安心を

伊藤 操

◎県内でも、指定ゴミ袋を買い物袋のような形に変更する自治体が増えています。運搬が容易で使い勝手も良いとの事で、市民からの強い要望があります。市の考えは？

市長 本市のごみ袋について見直しを行うため、老人クラブ連合会の協力のもと他自治体のサンプル品の使用感についてアンケートを実施しました。結果は、「使いやすい」と「使

いにくい」が半々でした。ごみ袋は、「形状」のほかに「素材」「強度」「透明度」そして「経費」に考慮する必要があります。今後高齢者等の負担を軽減するために、小さいサイズのごみ袋について、持ち手のある形状を検討していきます。

◎現在、市では乳幼児健診においてフッ素塗布を行っています。安全性に問題は無いのでしょうか。虫歯の予防には、徹底した栄養指導と歯磨き指導を取り入れるべきでは？

市長 フッ素の効果と安全性については、WHO始め専門研究機関で実証済みであり、市では、虫歯予防対策のひとつとしてフッ素塗布の機会



を提供しています。しかし、これは強制ではなく、きちんと説明をした後に希望者に実施しているものです。虫歯予防には、乳幼児期からの規則正しい食生活や歯磨きなどの生活習慣が重要なため、乳幼児健診の際に保護者に対して歯の健康指導を行っています。日常的な生活習慣の重要性を保護者に認識してもらえよう



インバウンド観光は 重要なマーケットである

山口 吉静

◎観光行政のあり方、インバウンド観光は、今後の日本・新庄を支える重要なマーケットであります。地域の資源を磨き育てることや、徹底したPR等の戦略について、お伺い致します。

市長 本市では、昨年度から、山形県を訪れる人数が最も多い台湾人観光客をターゲットにPRを開始しました。今年度は、新庄まつりに合わせ台湾の旅行会社や新聞記者を招聘し、当地域を視察してもらいました。10月には、台湾での旅行博や現地旅行会社との商談会へ参加の予定です。現在は新庄・最上の認知度は低く観光客も少ない状況ですが、インバウンドを引き付ける魅力は大いに存在する地域です。今後は、最上地域全体で観光資源を磨き上げ、連携してPRしていけるよう態勢を整えていきます。

◎現在は確実に人口が減少しています。婚活の回数を増やし、様々なイベントを開き、結婚に結びつけば子供も生まれ、人口も増えます。市としての対策をお伺い致します。



市長 人口減少は全国的な傾向にあります。本市でも自然的増減、社会的増減とも減少傾向が続いています。そのため少子化対策として、二歳に対応した保育環境の整備や機能の充実など、子どもを産み育てる環境の充実に努めています。また、晩婚化・非婚化に歯止めをかけるために、男女の出会いの場づくりや講習会など、最上8市町村の合同事業として結婚活動を応援していますが、これからも効果的な支援策について研究しながら継続していきます。



子供の未来につながる 「環境美化対策」について

小関 淳

◎道路や側溝、河川など、まちのいたる所に、吸い殻、空き缶などが散乱している。飲料水などの自動販売機に、設置事業者の責任として回収ボックスの設置指導をすべきではないか。

市長 公道等におけるポイ捨てごみの回収は、住民の協力に頼るところが大きいのが現状です。行政ですべて行うということは、相当のお金がかかるということでもあります。ごみのポイ捨てや不法投棄がある一方で、草刈をしたり、プランターを置いたり、花を植えている場所には、あまりごみが見られません。これも地域が主体的に環境保全に取り組んできたおかげで、効果的です。

環境課長 飲料水などの自動販売機の設置の際の、回収ボックスの設置については、業者にその責務がありますので指導していきたいと思えます。

◎新庄市は全国に先駆けて「食品トレイリサイクルシステム」を実践している市。今後は、東北旅の玄関口として「ゴミひとつないまち、新庄」



を目指してはどうか。

市長 ごみのポイ捨てや犬の糞など、公衆衛生に関するマナー、モラルの向上は、それに向けた環境教育・学習への啓発活動、最終的には意識を啓蒙するということに大きな目的があります。ここに住むもの自身がまちを良くするという気概を持つところこそが一番大切と考えます。今後も、ポイ捨て禁止のモデル地区を検討するなど、地域や関係機関と連携し環境美化活動を推進・継続していきます。



流雪溝の整備計画について

石川 正志

◎除排雪に伴う市内の水上がり地帯の改善措置は、中長期の流雪溝整備計画に、どの様に盛り込んでいくのか伺います。

市長 流雪溝の整備については、「第2次総合雪対策基本計画」に基づき計画的な整備を進めており、23年度末の進捗率は51%となっております。残りの流雪溝についても、順次整備していきますが、相当な経費を要するため、補助事業などを活用し進めていく予定です。また、市内の水上がり箇所を整備については、これら地区の整備とは別に並行する形で、その都度改善していきたいと考えています。

◎流雪溝利用における水系ごとの町内間調整と市民と協働した雪対策をどの様にして構築していくのか伺います。

市長 冬の安全で快適な暮らしを実現するためには、雪に強い地域・町内の集合体を作るべきと考えています。そのため、除排雪については、これまで機械除雪の増強、流雪溝の整備、簡易除雪機の貸出、雪捨て場



の確保等に取り組んできました。まちづくり会議などでも様々な提案をいただいています。特に、流雪溝の水上がりは複数の町内での水利用から発生していることも多く、町内間調整が問題解決の一役を担うものと考えています。雪問題については、市と市民が共有し、考える場・組織化について町内で懇談会を設けたいと思います。道路網の除排雪や流雪溝の整備などの対策と市民と連携した対策の双方により真に雪に強い快適なまちづくりを目指します。



通学路の安全対策について

高橋 富美子

◎「緊急合同総点検」の結果を点検の為の点検に終わらせない為に「目に見える」諸対策の迅速かつ計画的な実施を図るべきではないか。

教育長 通学路については、各小学校と関係機関との合同安全点検を実施しました。その結果は、学校による対策が必要なものや、道路管理者による対策が必要なもの、警察署による対策が必要なものなどがありました。これらについては、順次対策を講じていきます。また、合わせて、自らの危険を予測し、自分の身を守るための交通安全教育の強化と安全指導を徹底しながら、児童の安全を守っていききたいと考えています。

◎ひきこもり、ニートは将来的には生活保護等社会保障の対象となることも考えられます。悩みを抱える若者とその保護者への就労自立への支援相談を行うサポートステーション的な場が望まれますが市当局の考えは。

市長 ひきこもりやニートは、原因が多様であるため、対応や解決方法も異なり、その存在把握については、



本人やその家族がどこまで開示できるかによります。そのため、実態把握は現状ではできていませんが、自立に向けそれぞれの状況に応じた対応策を講じています。義務教育の過程で発生する不登校児に対して「リスタートクラス」、不登校の経験のある子供を持つ親の「気楽に話し合う会」、思春期の若者を対象とした集いと悩みの相談窓口「まちかどカフェ（たまり場）」、地域に密着した民生児童委員の活動などです。最終的には地域で見守ってもらえる体制を作っていききたいと思っています。



萩野地区小中一貫校には 禍根を残す問題点が多すぎる

新田道尋

◎現設計では耐用年数の47年間、不便さを感じながら児童生徒が通い続けなければならない。30数億を費やす事業であればもっと慎重に検討すべきだ。敷地内に3本もの通路を通しグラウンドを狭くしたり、堆雪場所をグラウンドにすれば春の排雪に又費用が必要、除雪によって駐車場が半減等、維持管理費が過大になる。現校舎と同じ場所への建設に見直すべきだ。

市長 萩野地区小中一貫教育校の建設計画については、「新庄市立小中一貫教育校基本計画策定委員会」を設置し、約2年をかけて制定しました。学識経験者や教員、萩野中学校区の小中学校PTAなど多くの方の協力で進めてきました。また、萩野中学校区の住民の皆さん方に、「建設場所」「建物配置レイアウト」「学校像」「教育システム」などについて説明をし、意見や要望を伺いながらまとめていきます。

教育長 建設場所については、建設期間中の既存校舎や屋内運動場の利用を前提として、皆さんから意見を

いただき児童・生徒の安全を考慮し、敷地北側に配置する予定です。また、グラウンドも学校の授業、部活で利用するには十分可能です。次に堆雪場所については、市内のほかの小中学校と同じように、駐車場やグラウンドを利用することとしています。現在もグラウンド等を利用しており、堆雪した雪はその時期と融雪状況を見ながら排雪しています。その他にも雪庇対策や再生可能エネルギーの導入など、実施設計も含めて詳細に検討しながら進めていく予定です。



市道廃止は誤りだったのでは

佐藤悦子

◎10月末沖縄に配備予定の米軍のオスプレイは、世界中で事故を起こしている欠陥機だ。新庄市のすぐそばを低空飛行訓練すると通告されている。防災ヘリなどの運航に脅威となる。市民の命と安全は守れるのか。

市長 オスプレイの事故については、新聞報道によれば、5年間で58件の事故が発生しています。また、米海兵隊の環境審査報告書では飛行訓練ルートが示されています。しかしこれら一連のことは、日米安全保障条約上の国の問題であり、情報不足の中での発表であることから今後、政府の対応を含め注視していきたいと考えています。

◎中核工業団地内の市道廃止は問題では。大災害時、緊急輸送のヘリポートにつながる道でもあり、駅伝競走の応援の際に使う道でもあった。

市長 中核工業団地内の市道廃止については、昨年9月に産業厚生常任委員の現地視察を踏まえ、常任委員会や本会議において審議され、全会一致で可決されたものです。廃止する理由として「市道としての役割が

終了したものと判断される」としており、今後、市道としての復帰や代替道路の設置は必要ないものと判断しています。





新庄市の地域資源について

佐藤 卓也

◎市としてのどのような地域資源を意識して、市全体で共通の認識を持たれているのでしょうか。また行政の次代を担う若い職員を抜擢した「地域資源戦略室」の設置を考えてみてはどうでしょうか。

市長 本市には、国指定重要無形民俗文化財となった「新庄まつり」や、国指定史跡「新庄藩主戸沢冢墓所」、国指定重要文化財「鳥越八幡神社」などがあります。他にも松尾芭蕉や義経にまつわる素材、地域の風土と歴史が育んだ史跡や建造物が豊富にあります。農産物・伝統料理や民俗芸能・山岳信仰など、地域資源であると同時に観光資源でもあります。これらの資源を活用するために、関係各課が連携を深め、互いに持ち味を出し合い、より良いものにし、情報の発信や交流の促進に繋げているところです。今後も適材適所の人事異動を通じて能力向上を図り、かつ若手職員の育成にも努めていきます。

◎そばの産地として市をPRする「新庄そばガールズ」が結成されましたが、イベントの情報収集等今後

の活動内容をお聞かせください。

市長 そばガールズのメンバーは、県立農業大学の学生と農協職員、市職員ですので、学業や業務に支障のない範囲で調整し活動しています。またその結成と活動は、市のホームページや各種情報誌を活用してこちら側から発信し、これを見た団体などからの行事への参加依頼等あれば可能な範囲で協力したいと考えています。そばガールズは、新庄そばまつりのPRイベントや、当日のアトラクションに出演し、楽しんでもらえるよう準備しているところです。



若者の定住は雇用の場の確保だ

清水 清秋

◎将来を担う若者の定住は、企業誘致を図り、雇用の場を確保すること。誘致の現状はどうか、各種の優遇措置の見直しの考えはどうか。特に除雪や分譲価格において。

市長 雇用の拡大・創出については、新規企業の誘致に加え、地場産業への支援も大事と考えています。人材確保や販路拡大のための支援を行っています。新規企業誘致については、本地域の特性である雪や森林資源等の自然エネルギーを有効活用した事業展開についての提案を繰り返しており、数件の問い合わせがあります。また、企業への助成制度や優遇制度は、魅力を与える重要な要素であるため、効果的に機能する新たな助成制度について今後研究していきます。

◎市道と並行して生活道路の整備、管理をもっと重要視していくべきである。定住環境を形成している重要な道路。整備、除排雪に対して、市民の負担軽減を考えられないのか。

市長 生活道路の整備については、その整備に要する経費の一部を補助する制度があり、これを利用してそ

れぞれ整備していただいています。今後さらに、この制度の周知を図り、申請後早めに補助できるように整備予定の把握に努めます。また、除雪についても申請により行っています。この度実施した生活道路除排雪

が、この度実施した生活道路除排雪実態調査において様々な意見が寄せられましたので、今後の除雪作業に活かしていきたいと考えています。生活道路の除雪に関しては、ほかに補助の制度がありますので、周知を図り活用していただけるようにしたいと思います。



常任委員会の審査から

総務文教

総務文教常任委員会に付託された請願の中から1件の審査状況をご紹介します。

◆請願第5号 地方財政の充実・強化を求める請願について

紹介議員より請願の趣旨説明があり、急速な高齢社会の到来に向け、社会保障の機能強化と持続可能性の確保が重要となってきた。そのためには安定した財源の確保が必要となる。地方自治体の安定的な財政運営を行うため地方交付税の総額を確保し、制度の財源保障機能と財政調整機能を維持することが重要であるとの内容でした。

審査に入り、委員から、国税5税の法定率の改善とあるが、それは基本的にはどのよう改善していくのかといった質問があり、紹介議員より、国税5税の税率の引き上げではなく、地方交付税の原資とするための法定率を見直すこ

とにより税率を安定させるための方法の1つだと思つていただきたいという説明がありました。

また委員から、地方交付税がなかなか支給されないという話があるが新庄市はどうかとの質問があり、財政課より、国の方で国債特例法案が成立していないという状況で国債の予算化はしているけれどもそれを使えないという形で財源不足となっているが市町村については満額交付、都道府県については先延ばし分割でというような情報を聞いていたとの説明がありました。

この請願に関して採決した結果、請願第5号 地方財政の充実・強化を求める請願は全員異議なく原案のとおり採択すべきものと決しました。

産業厚生

産業厚生常任委員会に付託された議案2件の審査状況をご紹介します。

◆議案第47号 市道路線の認定

及び廃止について

主な内容としては、トウメキ地区の民間の住宅開発に伴う道路について、市に寄贈を受けたことにより市道の認定をするという内容です。

審査に入り、委員からの質疑はなく、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

◆議案第48号 山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

主な内容としては、住民基本台帳法の一部を改正する法律等が施行されたことに伴い、外国人登録原票が廃止され、原票に登録されていた外国人が住民基本台帳に移行されることとなったため、必要な改正を行うという内容です。

審査に入り、委員からは、「75歳以上の人口の推移」についての質問があり、健康課からは「制度開始当初よりそれほど増えてはいない」との説明がありました。

その他委員からの質疑はなく、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

議会を傍聴しませんか

—市民の皆さんの意見が反映されていますか—

どなたでも議会を傍聴することができます。当日直接議会事務局にお越しください。受付簿に住所・氏名を記入していただく他は、面倒な手続きはありません。(傍聴席に限りがありますので、団体の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。)

あとかき

例年、新庄まつりが終わるとする頃には、耳の奥に残る雛子の音色とともに、秋風が街に吹き込んでいきます。ところが、今年は9月に入っても猛暑は衰えず、もう冬など来ないのではないかと思えるほど、寝苦しい夜が月中ごろまで続きました。しかし、間違いなく冬はやってきました。山々に深く降り積もる雪は、翌年の五穀豊穡を約束する貴重な「宝の水」となります。厳しい冬があつてこそ、私たちは有り余るほどの自然の恩恵の中で、豊かな暮らしを送ることができているのだと思います。このような素晴らしい地域の暮らしを、より豊かなものにす

12月定例会の予定

12月7日(金)	開会
8日(土)	休会
9日(日)	休会
10日(月)	一般質問
11日(火)	一般質問
12日(水)	常任委員会
13日(木)	常任委員会
14日(金)	休会(本会議準備のため)
15日(土)	休会
16日(日)	休会
17日(月)	休会(本会議準備のため)
18日(火)	最終日

請願締切11月27日(火)までとなっております。
※一般質問者数により若干日程が変わります。

るためにも、これからは行政と議会、そして市民が、それぞれ力を十分に発揮していかねければなりません。議会が議会としての機能を充実させて市民の期待にこたえることは、市民のよりよい暮らしに直結します。議会は、その役割を全うするために最高規範である「新庄市議会基本条例」の制定を目指して鋭意検討を進めています。11月16日、19日、20日、22日には、第2回の議会報告会を開催します。新庄市議会は、「市民とともに歩む議会」を目指し、市民の皆様の声をより反映できる議会に生まれ変わろうとしています。それには、市民の皆様のご理解とご協力が必要となります。是非、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。小関 淳